

Environmental Report
2025

Environmental Report 環境報告書 2025

地域社会とともに



この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

いつもの暮らしを、いちばんに。
 **四国ガス**

地域社会とともに

Contents

- 02 ごあいさつ
- 03 環境行動指針・社内推進体制
- 04 環境負荷低減への取り組み
- 06 持続可能な社会への取り組み
- 09 地域における社会活動
- 10 事業概要

報告範囲

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

対象範囲 四国ガス株式会社

発行日 2025年11月

発行にあたって

SDGsに関連する四国ガスの取り組みについて、該当するSDGsのアイコンを記載しています。

ごあいさつ



代表取締役社長
社長執行役員

瀧口 透

日頃より四国ガスをご愛顧、ご支援いただきまして誠にありがとうございます。

近年、地球温暖化や異常気象など環境問題は深刻化し、世界規模での脱炭素化への対応が急務となっております。わが国におきましても、エネルギーの安定供給と環境負荷低減を両立させることが大きな課題となっております。このような中、2025年2月に閣議決定されました第7次エネルギー基本計画は、再生可能エネルギーの最大限の導入や、天然ガスをはじめとする低炭素エネルギーの活用、水素・アンモニアの社会実装などが示され、2050年カーボンニュートラル実現に向けた道筋が描かれております。

都市ガス業界におきましても、日本ガス協会が、目指すべき2050年の未来像「ガスビジョン2050」と、ビジョン実現のための2030年までの取り組みを示した「アクションプラン2030」を策定し、お客さまにとって最適なソリューションの提供、豊かな暮らしの実現および社会・産業・地域の発展、ならびに2050年のカーボンニュートラル化に貢献していく方針が示されています。

当社におきましては、環境負荷の少ない天然ガスの普及拡大を軸として、エネルギーをより効率的に活用することを目指し、ガスコージェネレーションなどの高度なエネルギー利用の提案を継続してまいります。また、四国地域での省エネルギー活動などから創出されたJクレジットを活用し、カーボンオフセットを実現した都市ガスの供給や、四国内の各自治体との連携を通じて、低炭素・脱炭素化や防災機能強化などの地域課題の解決に向けた取り組みを積極的に進めており、引き続き地方創生に貢献してまいります。

さらに、当社グループでは、今年度より「四国ガスグループビジョン2030」のセカンドステップをスタートさせ、「脱炭素社会への挑戦」、「ステークホルダーとの価値共創」、「グループ経営基盤の強化」という「3つのチャレンジ」を掲げ、私たちが目指すべき姿「あなたとともに、新しいワクワクを。」を実現し、さらなる成長と変革を遂げるために、グループ役職員一丸となって取り組みを進めてまいります。

本報告書は、当社が果たすべき社会的責務の一つとして2024年度に取り組みました環境保全活動や社会貢献活動についてまとめたものであり、皆さまのご理解をいただくとともに、ご意見、ご感想をいただければ幸いと存じます。

環境行動指針・社内推進体制

四国ガス環境保全行動計画

当社の
使命

地球社会の一員であることを深く認識し、共有の資源と環境を守り、真に豊かな社会の実現に尽力する。

環境理念

エネルギー事業者の事業活動は、環境保全と極めて密接な関わりを持っている。我々四国ガスグループは、健全な企業活動に徹するとともに、環境との調和、積極的な社会貢献活動を通じて、効率的なエネルギー供給の義務を果たす。

行動指針

お客さま先における 環境負荷の低減

環境特性に優れた天然ガスを原料とする都市ガスの普及拡大と高効率ガス機器の普及促進により、お客さま先での環境負荷の低減に努める。

当社の事業活動における 環境負荷の低減

当社の事業活動に伴う環境負荷のさらなる低減に努めるとともに、天然ガスの利用促進を通じての環境保全と、廃棄物の削減や再生利用、再資源化を促進する。

地域の環境保全活動への 貢献

都市ガス事業と地域社会との関わりを深く認識し、地域の社会活動への参画や、生物多様性の取り組み等を通じて、地域の環境保全活動に貢献する。

環境マネジメントの 充実

環境保全行動計画に基づき、四国ガスグループが一体となって継続的な環境負荷の低減に努める。

推進施策

1. 天然ガスの普及促進

- ① 石炭・石油等からの燃料転換によるCO₂の削減

2. 環境特性に優れた機器の普及促進

- ① 高効率ガス機器の普及促進
- ② ガスコージェネレーションシステムの普及促進
- ③ 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及促進

1. 廃棄物の排出量削減および再生利用、再資源化の促進

- ① 廃棄物の3R【リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)】の推進
- ② ガス導管工事による掘削土の削減
 - 浅埋工法、非開削工法による掘削土の削減
 - 掘削土・PE管の再利用

2. エネルギーの有効活用による環境負荷の低減

- ① 工場での取り組み
- ② 太陽光等再生可能エネルギーの活用
- ③ 事務所における省エネと資源の有効活用

1. 地域の環境保全活動への参加

- ① 地域の環境美化活動への参加
- ② 環境啓発活動の実施
- ③ 次世代教育の開催

2. 環境にやさしい調和のとれた景観づくり

- ① 工場緑化
- ② 景観に配慮した工場設備

1. 環境マネジメントの充実

- ① 環境保全行動計画推進のために環境委員会、環境行動推進委員会を設置
- ② 社内環境教育の実施

2. 環境情報の発信

- ① 環境活動の結果は環境報告書を作成し社内外に周知

推進
体制

環境委員会

環境方針・目標等、環境問題に関する全社的な施策の決定
環境貢献被表彰者の推薦

小委員会 環境行動推進会議

部門別目標の設定、環境問題に関する情報交換

事務局(管理本部総務部)

生産本部

導管本部

営業本部

管理本部

環境負荷低減への取り組み

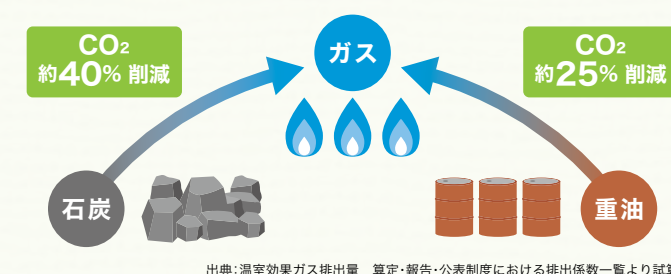
天然ガスへの燃料転換の推進

天然ガスはメタン(CH₄)を主成分とする無色透明の可燃性ガスで、燃焼時の二酸化炭素(CO₂)等の排出量が石炭や石油と比べて少なく、環境性に優れた燃料です。このため、天然ガスへの燃料転換を進めることで、低炭素化(CO₂削減)を実現することができます。

産業用・業務用分野において、天然ガス燃料転換および高度利用を推進することで、天然ガスの普及拡大に努めています。また、機器の高効率化や設備全体の省エネ提案を通じ、CO₂削減を含む環境保全にも貢献してまいります。

さらに将来的には、メタネーションにより水素(H₂)とCO₂を反応させ合成したメタンを利用することで、ガス自体の脱炭素化が見込まれています。

燃料転換によるCO₂排出削減イメージ



同染工(株)さまボイラー



(株)宮武讃岐製麺所さま工場

天然ガスの高度利用

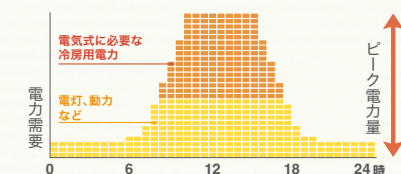
ガス空調

電気冷房システム

⚠️ ピーク時の電力量が多く、大規模な受電設備が必要です。



<受電設備>

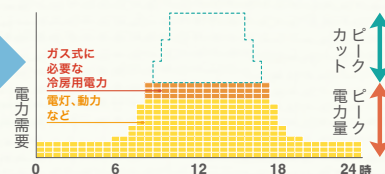


ガス冷房システム

⚠️ ピーク時の電力量を抑制し、受電設備を最小限に抑えます。



<受電設備>



事務所ビルや店舗、商業施設など、建物における消費電力の多くは空調に使われています。都市ガスを使って空調することで、夏場の電力ピークカットに寄与するだけでなく、契約電力低減や受電設備容量の軽減を図ることができます。近年では、停電時に自立運転ができ、かつ外部電源出力もできる停電対応機にも注目が集まっています。

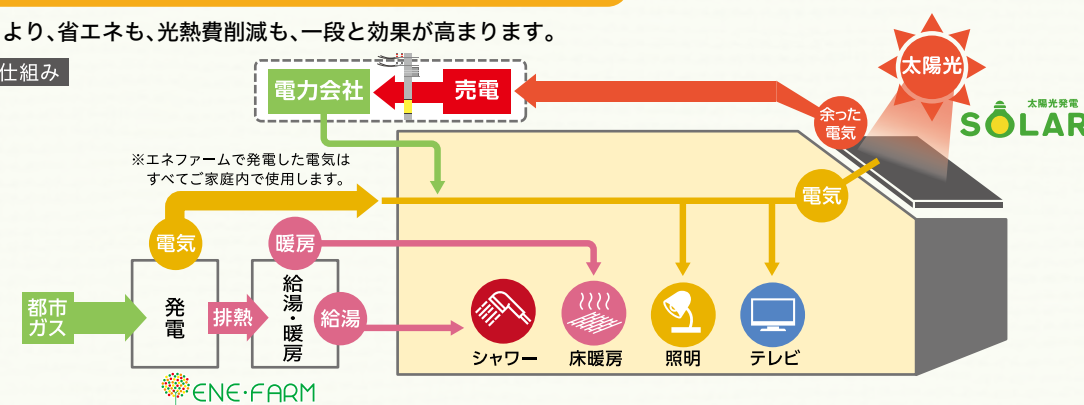
エネファームと太陽光の“ダブル発電”

エネファームと太陽光のダブル発電で、家庭に必要な電気の多くをまかなうことができます。自家発電の量が多いほどCO₂排出量を減らせるため、環境にやさしく、経済的で快適な暮らしが実現します。

ガスと太陽光発電で電気を作る理想の自家発電システム

ダブル発電により、省エネも、光熱費削減も、一段と効果が高まります。

ダブル発電の仕組み



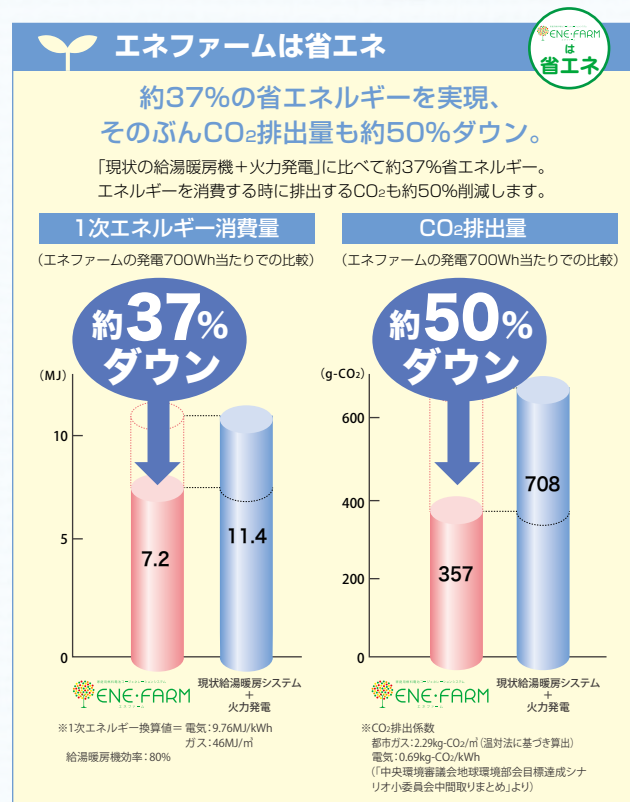
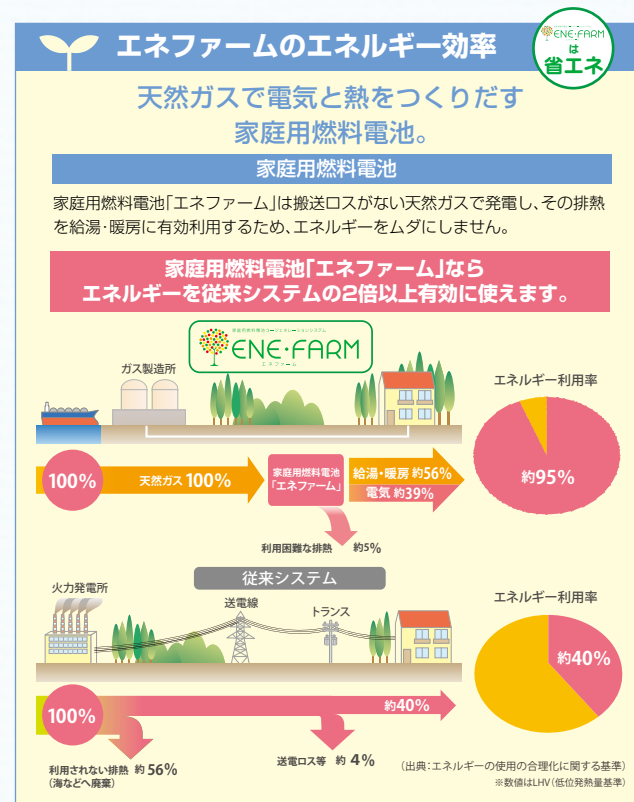
● 家庭用燃料電池（エネファーム）で温暖化対策 ●

天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電し、その際に発生する排熱を回収し給湯に利用する「エネファーム」。使う場所で発電し、熱も有効利用するので、無駄が少なく約95%のエネルギーを利用できます。高い省エネルギー性と環境性を持っており、低炭素社会の実現に向けて大きな役割を果たすと期待されています。



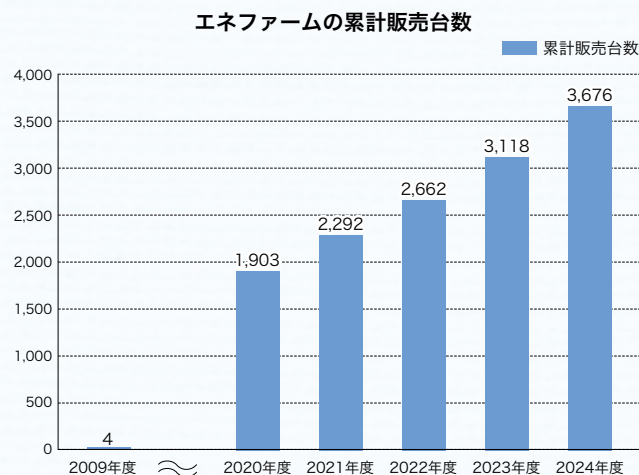
節電
一般家庭の
電気約5割を
作る！

温暖化対策
CO₂を大幅に
削減！



エネファーム累計販売台数3,600台突破！

2009年にエネファームの販売を開始して以来、戸建住宅を中心に販売活動を展開してまいりましたが、2020年度からは四国の分譲マンションで一部導入されるなど、ZEHマンションにも対象を拡大しました。今後もエネルギーを無駄にしない、環境に優しいエネファームの販売普及を通じ、お客さまの安心で快適な暮らしのサポートに努めるとともに、地域のCO₂削減に貢献し、持続可能な開発目標の達成に向け取り組んでまいります。



持続可能な社会への取り組み



持続可能な社会の実現や地域の課題解決に貢献し、お客さまから信頼され選択される企業グループであり続けることを目指してまいります。

カーボンニュートラルへの取り組み

● LNGバンカリング船が松山工場へ初入港 ●

産業用需要を中心とした天然ガス需要拡大に伴うLNG海上輸送能力強化のため、LNGバンカリング船“KEYS Azalea”による調達を開始し、2024年4月、松山工場へ初入港いたしました。本船によるLNG調達は、安定供給の確保に加え、サプライチェーン全体の温室効果ガス（GHG）排出削減にも貢献するものです。



● カーボン・オフセットLNG(V)の購入および自家使用 ●

2021年度より、脱炭素社会への貢献とSDGsへの取り組みの一つとして、大阪ガス株式会社様よりカーボン・オフセットLNG(V)の一部を購入し、当社事務所および各工場で使用しております。

カーボン・オフセットLNG(V)は、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、森林保全・植林等のプロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺することにより、地球規模では、この天然ガスを使用してもCO₂が発生しないとみなされるLNGです。



● カーボンネットゼロ都市ガスの供給 ●

お客さまのニーズに合わせてJクレジットやその他ボランタリークレジットを活用し、お客さまへカーボンネットゼロ都市ガスを供給しております。

2022年7月、当社初、四国初の事例として、株式会社百十四銀行様の四国内店舗および研修施設等で使用する都市ガスの全量が、カーボンネットゼロ都市ガスとなりました。現在では、他の企業さまや自治体などにも導入が広がっています。



事業所での取り組み

自然との調和を図り、環境にやさしい省エネルギービルとなっています。



徳島支店



▼太陽光発電

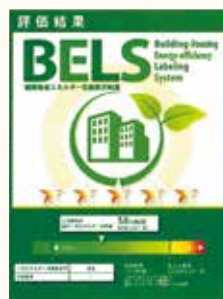
- 太陽光発電設備を設置し自然エネルギーを有効活用します。
- 太陽光発電設備は商用電源へ連係し、自家消費することで、消費電力ピークカットを実現。

▼ガスコージェネレーションシステム(CGS)

- CGSを設置し、電力負荷に合わせ常時発電するとともに、排熱を給湯利用し、エネルギーの有効活用を図ります。

●「ZEB Ready」認証を取得した徳島支店事務所●

2025年3月に完成した徳島支店事務所ビルは、防災拠点としての機能を備えるとともに、環境特性に優れた天然ガスを活用および太陽光発電、コージェネレーションシステム等の設備を導入し、省エネ・低炭素に貢献できる建物として、当社初の「ZEB Ready」認証を取得いたしました。また、BELSの5段階評価「最高ランク星5つ」を獲得し、建物のエネルギー消費量を58%削減しています。さらに、空調・照明・設備機器のエネルギー使用量を「見える化」するBEMSを導入することで、効率的なエネルギー運用を支援し、省エネ・コスト削減と快適な職場環境の両立を実現しています。



BELS評価書



BEMS (建物全体)



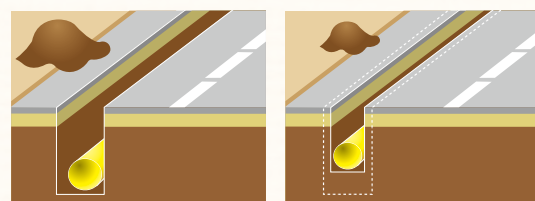
BEMS (太陽光・蓄電池)

掘削土の発生抑制

ガス導管を埋設する工事では、道路などを掘削するため、掘削土やアスコン(アスファルト・コンクリート)が発生します。

道路法施行令に定められていた埋設深さの規制が従来の約1.2mから0.6mに緩和されたことを受け、当社でも浅層埋設工法や非開削工法を導入し、産業廃棄物や掘削土の発生を抑制しています。

◆掘削土抑制のための工法説明図



従来の開削工法

浅層埋設

工場での取り組み

●環境保全と品質向上への取り組み●

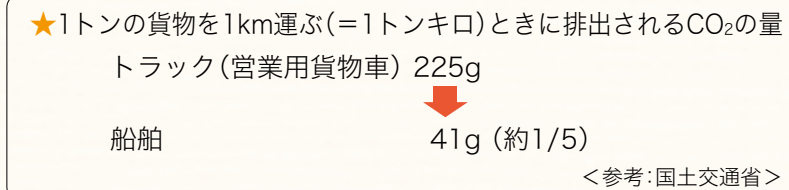
環境保全の一環として、社内独自の環境マネジメントシステム(EMS)規程を構築し、運用を開始しております。この取り組みにより、今後も全工場での環境保全活動の推進とコンプライアンスの順守を継続してまいります。さらに、環境への配慮として、都市ガスの臭いの元となる付臭剤を硫黄含有量の少ないものに変更し、環境保護と都市ガスの品質向上を図っております。



高松工場

●LNG内航船によるCO₂排出量等の削減●

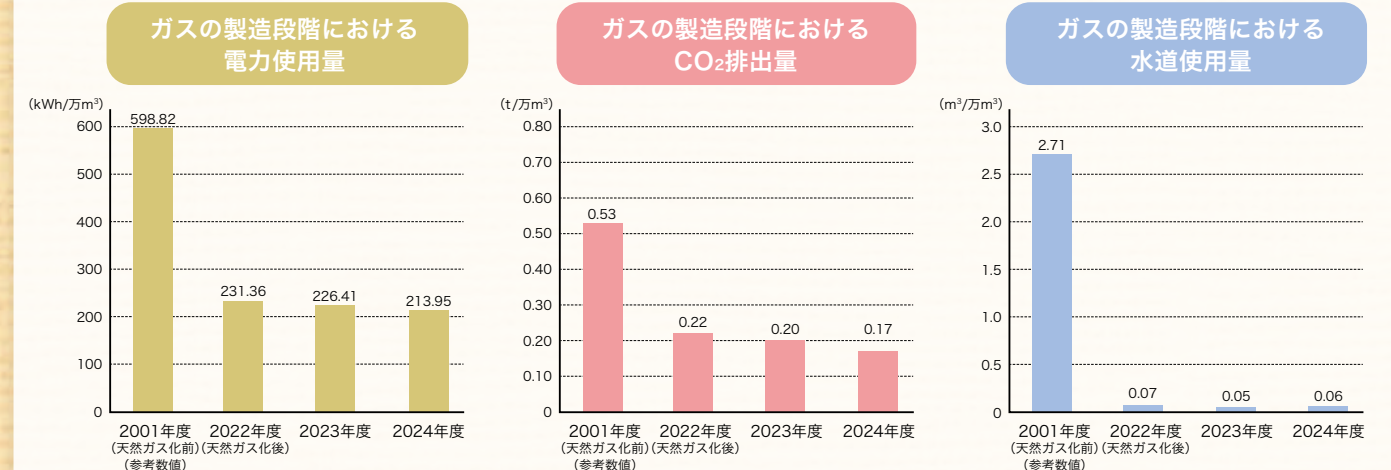
都市ガスの原料であるLNGを福岡県北九州市や兵庫県姫路市にあるLNG基地から、高松工場・松山工場・徳島工場のLNG受入基地へ内航船で輸送しています。海上輸送を利用することで、LNGローリーによる陸上輸送に比べてCO₂排出量を大幅に削減できるほか、一度に大量輸送が可能となり、エネルギー消費効率も向上します。さらに、道路の混雑緩和や交通事故防止にもつながります。また、内航輸送量の一部をLNG燃料のバンカリング船で運搬することにより、内航輸送におけるCO₂排出量の削減にも貢献しています。



LNGバンカリング船

●製造段階における天然ガス化の効果●

都市ガスの原料に天然ガスを使用することによって、ガスの製造過程におけるCO₂排出量など環境負荷の軽減に努力しています。



地域における社会活動

四国ガスでは環境教育の実施、地域の環境保全活動への参加などを通じて、社会貢献に取り組んでいます。

環境教育への取り組み



地球環境とエネルギーについて楽しく学んでいただくために、各地区の小中学校と連携して冷熱実験などの出前授業を行っています。

また、各種イベントにも出展し、天然ガスや各種高効率ガス機器などの紹介も行っています。

防災教育活動への取り組み



災害時に備えた防災意識の向上を目的として、防災をテーマにしたイベントを開催しています。火の重要性や安全について学んでもらうため、火おこし体験や水消火器を使った放水体験、住宅用火災警報器の紹介などを通じて、防災に対する理解と関心を深めています。今後も、地域の重要なライフラインを担う企業として、社会貢献に努めてまいります。

地域貢献と次世代教育

地域貢献活動の一環として、エネルギー・環境教育などを中心とした次世代教育に積極的に取り組んでいます。地元のエネルギー企業として、高校生を対象に、天然ガスの特性やエネルギーの仕組み、環境保全の重要性などについての講義や工場見学を行いました。今後も、次世代を担う若者への教育活動を通じて、地域社会の発展と持続可能な未来づくりに貢献してまいります。

環境保護活動への取り組み



地域行政や他企業などと協働し、清掃活動をはじめとする環境保護活動に積極的に参加しています。その一環として、各事業所において、海洋ごみ問題に対する意識の向上を目的とした海岸清掃活動へ参加しました。今後も地域社会の一員として、地域の環境美化に努めてまいります。

自治体や地元企業との連携



自治体や地元企業と連携し、脱炭素社会の実現、地域活性化、地方創生への取り組みを進めています。今年度は愛媛県今治市とピポット今治で食べ物の「もったいない」とエネルギーの「もったいない」を学ぶ「フードロス教育×エコクッキング教室」を開催しました。今後も、自治体との連携を強化し、あらゆる視点から地域課題への取り組みを推進してまいります。



事業概要

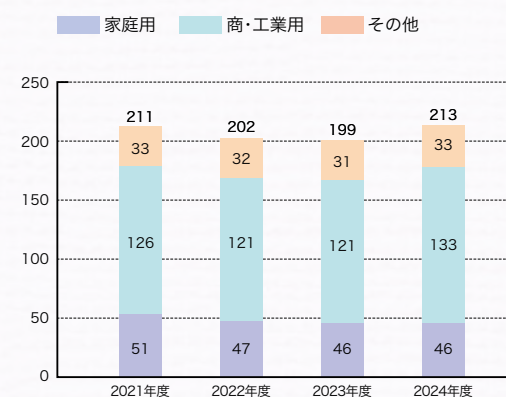
会社の概要

商号	四国ガス株式会社	主要な事業内容	①ガスの製造、供給及び販売
本店所在地	今治市南大門町二丁目2番地の4		②ガス機器の販売
設立年月日	1912年11月15日		③ガスに関する工事の請負
資本金	1,800,347,400円		

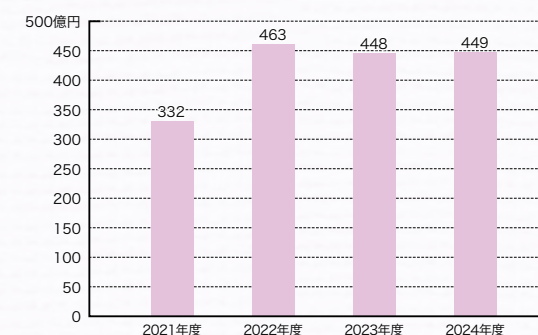
主要な事業所及び工場

今治支店	今治市共栄町五丁目1番地の3	今治工場	今治市共栄町五丁目2番地1
松山支店	松山市味酒町一丁目10番地6	松山工場	松山市大可賀三丁目1460番
宇和島支店	宇和島市明倫町一丁目1番16号	宇和島工場	宇和島市明倫町一丁目1番16号
高知支店	高知市鴨部一丁目20番24号	高知工場	高知市五台山4993番1号
徳島支店	徳島市北出来島町一丁目26番地2	徳島工場	徳島市東沖洲二丁目67番1号
高松支店	高松市松福町一丁目13番30号	高松工場	高松市朝日町四丁目18番1号
丸亀支店	丸亀市大手町三丁目4番35号	坂出工場	坂出市番の州町7番1
総合研究研修所	伊予郡松前町大字北川原1628番1号		

用途別ガス販売量[100万m³(46MJ/m³)]



総売上高



お客さま戸数

地域に密着したサービスネットワーク
四国4県約25万戸のお客さまとのおつきあい



本支管延長数

